

(様式3)

事業所名: 信濃ときわ南の家

目標達成計画

作成日: 令和6年3月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	広報誌や面会時などに日頃の様子を伝えている。面会や電話連絡の多い家族とはそれなりにコミュニケーションをとってはいるが、そうでないご家族とは意見を交わす機会が少なく、不安を感じさせてしまっている部分がある。	要望等を伺うためのアンケートの実施及び、担当者会議や施設行事への家族の積極的な参加の促しを行い、定期的に意見交換できる土台を作っていく。	①6月と12月の年2回アンケートを実施する。 ②担当者会議及び施設行事への参加を促す。 ③アンケート結果を家族に公表するとともに、取り組みへの結果も公表していく。	12ヶ月
2	49	近隣への散歩はできているが、車などの外出がなかなかできていない現状がある。	月に1度、最低でも2か月に一度は車での外出を計画し、外出を楽しむ。	①行事計画担当者を中心に外出計画を立てていく。 ②行きたい場所など利用者に聞き取りを行い、極力本人が行きたい場所に行けるように支援する。 ③外出の様子などを記録し、広報誌の他個別に報告書を作り、家族に状況をお伝えしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。